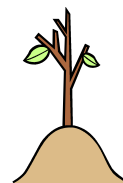


種時く人

令和3年9月1日
須恵小学校便り18号



感動創造

何事も小さな仕事に分ければ、とりたてて難しいことではなくなる

ヘンリー・フォード

分けることができ、する時間を決めることができれば仕事は終わりに近づく。

オリンピックで、試合の後に選手が泣くのはなぜか？



始業式の校長講話で、上記のことを「よかったら考えて、こうじゃないかと思ったら書いて校長ポストへ入れてください」と児童らにお願いしました。びっくりしたことに、49人の児童が返事をくれました。さすが須恵小の児童です。児童の書いた文章を読むのはとても楽しかったです。

ストレートに、(勝って又は負けて・メダルがとれなくて。頑張ったけど負けて)うれしい・悲しい・悔しいという意見が多かったです。

低学年の児童で「がんばったから」と書いた人がいました。中学年では、今までがんばってこれてうれしい」「力を出し切れた」「協力できた」、高学年でも「目標を達成できた」「今までがんばってこられてうれしい」「協力できたから」などの意見もありました。勝敗を超越し、評価の対象を自分にする素晴らしい考えと思います。また「期待を背負っていたり、人一倍努力したから」「まだあきらめず、これからがんばるから」という、周りの人や未来に向かってのことを考えている児童もいました。



友達と意見を交流したり、何かの拍子に「校長は、なぜこんなことを考えさせたのかな」などど思考を深めてくれると、更にうれしいです。

さて、須恵小が目指す資質・能力を支えるものは何でしょう？



頭の体操を一つ。須恵小が児童に付ける力であるチャチャコースを支える、と東が考える「緑の輪の中に入る熟語」は何でしょう。ヒントは以下。

- 1 サイボーグ009島村ジョーの名セリフです。
- 2 男女関係なく名前に採用されます。

3 フェアリージャパンこと、新体操女子チームの演技そのものです。

思いついたものなら何でもそのとおりです。人の考えは、それぞれです。